

10月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 令和7年10月22日（水）14時55分～16時47分
- 2 開催場所 武雄市役所 4階会議室
- 3 出席者名 教育長：松尾教育長
教育委員：大庭教育長職務代理者、松尾委員、竹内委員、落合委員
事務局：野口こども教育部理事、真崎教育総務課長、緒方こども未来課長、福田学校教育課長、武富多様な学び支援室長、富岡学校教育課参事、石橋新しい学校づくり課長、井手生涯学習課長、宮原文化課長、井手新文化交流拠点整備室長、杉原生涯学習課長代理、溝上図書館・歴史資料館長
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 議事録署名人の指名 【松尾委員を指名】
- 7 前回会議録の承認 令和7年9月定例教育委員会会議録
- 8 (1)教育長の報告
 - 1 はじめに
 - ・今回からペーパーレス化へ
 - ・地区駅伝女子1位武雄中 男子1位武雄中 2位川登中 3位山内中 県大会11/7
 - 2 文科省の市町村教育委員会研究協議会(1/16(金)13:00～ オンライン)
※研究分化会
 - ① 教育委員会の機能強化・活性化について
 - ② 更なる働き方改革、処遇改善、学校の指導・運営体制の充実の一体的な推進について
 - ③ 不登校対策・いじめ対策について
 - ④ G I G Aスクール構想の進展について
 - ⑤ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について
 - ⑥ 特別支援教育（インクルーシブ教育）について
 - ⑦ 公立小・中学校の適正規模・適正配置について
 - ⑧ 学校部活動に地域連携や地域クラブ活動への移行について
 - ⑨ 地域と学校の連携・協働について
 - 3 これからの主な催し物
 - ・10/11～「古武雄vs中島青磁江戸のモダニズムと現代のモダニズム」（陽光美術館）
 - ・10/11～ 巡回展「WHO ARE WE」観察と発見の生物学（宇宙科学館）
 - ・11/3 武雄市・武雄市教育委員会表彰式（市役所1階市民ホール）

- ・ 11/8 たけおっ子の主張（市役所 1 階市民ホール）
- ・ 11/15 合唱団やまびこ&やまびこジュニア合唱団第70回定期演奏会（北方文化ホール）
- ・ 11/15～16 武雄の物産まつり、武雄市伝統芸能まつり（16日）（ケーブルワン）

4 国の動き（別紙資料①～⑤）

- ① 日本の教員 勤務時間最長（OECDの2024調査「国際教員指導環境調査」新聞記事）
- ② 教師を取り巻く県境整備へ向けた緊急声明（案）（教師を取り巻く環境整備特別部会）
- ③ 授業にAI 日本後れ（OECD調査 55か国・地域中54位 新聞記事）
- ④ 地域クラブ活動における生徒の安全確保（基本的な考え方 スポーツ庁）
- ⑤ 部活動、家計の負担重く（新聞記事）

9 議 事【公開】

(1) 報告事項

- ① 図書館の選書について
- ② 各課等からの行事報告

(2) その他

10 議 事【非公開】

(1) 提出議案

- 第15号議案 武雄市奨学資金貸与条例の一部を改正する条例
- 第16号議案 武雄市子ども・子育て支援事業費補助金交付要綱の一部を改正する要綱
- 第17号議案 武雄市特定子ども・子育て支援施設等の実費徴収に係る補足給付支給実施要綱の一部を改正する要綱
- 第18号議案 武雄市特定教育・保育等施設の実費徴収に係る補足給付支給実施要綱の一部を改正する要綱
- 第19号議案 武雄市放課後児童クラブ条例施行規則の一部を改正する規則
- 第20号議案 武雄市放課後児童支援員服務規程を廃止する規程

11 次回開催日程について

令和 7 年 11 月 20 日（木） 15 時～ 4 階会議室

12 閉会

午後2時55分 開会

○教育長職務代理者

皆さんこんにちは。もうあつという間に10月というか、秋の深まりと言いつつも、今朝は非常に寒くて、体調のほうをお互いに、健康管理には注意したいと思います。

今日は、我々も目の前にこういうタブレットが入りまして、倒さないようにそれだけ気になっていますが、今日は皆さんの顔を見る機会が少なくなるか分かりませんが、10月の定例の教育委員会をこれから始めたいと思います。よろしく願いいたします。

最初に、議事録署名人ということで、10月は松尾委員さんになっているようですので、よろしく願いしたいと思います。

教育長さんより非公開の議決についてお願いいたします。

○教育長

では、ちょっと紙のほうでレジュメ、表紙でもいいですけども、見ていただいて、今日のレジュメでございますが、ちょうど真ん中ほど、6番に議事【非公開】ということで、今日は議案が非常に多くなっています。15号、16号、17号、18号、19号、20号ということで議案が6件、非公開ということで上げさせていただいております。理由は、公にできないという理由でございます。ということで、非公開でいたしたいと思っておりますので、賛成の委員さんは挙手をお願いいたします〔賛成者挙手〕。

ありがとうございました。以上、提出議案と協議議案について、非公開でということで6議案について進めていきたいと思っております。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

3番の前回会議録の承認ということで、事前に配られておりましたが、教育委員さん、または執行部のほうで訂正等々ございましたら、挙手の上、お願いします。松尾委員さん。

○松尾委員

議事録の13ページの紙でいうと上から2行目のところで私の発言した部分なんですけれども、「年度途中で解消されたら」となっているんですけど、これは「開所」の間違い。

○教育長

13ページの。何行ですか。

○教育長職務代理者

上から何行。

○松尾委員

上から2行目の真ん中辺りに、「年度途中で解消されたら」となっているんですけども、

これは「開所」のほうです。「開所」で訂正をお願いしたいと思います。

○教育長職務代理者

すみません、訂正をお願いしておきます。

ほかにございますか〔「なし」と呼ぶ者あり〕。

ないようでしたら、教育委員さんの承認を取ってまいります。前回の会議録について承認される教育委員は挙手をお願いいたします〔賛成者挙手〕。

ありがとうございます。

それでは、先に進みます。

4番の教育長さんの報告ということで、別紙資料にて説明をお願いいたします。

○教育長

そしたら、定例教育委員会の資料ではなくて、教育長報告ということで、そこを開いていただきますと、令和7年10月定例教育委員会教育長資料ということがありますので、一応私の資料は1枚目のレジュメと、2枚目以降は新聞記事とか別紙資料になっております。ということで、開きましたでしょうか。

では、はじめにということで、今日からペーパーレス化ということで、しばらくはハイブリッドで、紙を見ていただいてもいいし、早く慣れられたらもうデジタルでということで考えております。

2つ目は、9月26日に先月になりますけれども、中体連の駅伝大会が行われまして、女子は1位に武雄中学校、男子は1位、2位、3位が武雄市内の中学校が独占しまして、4チームが11月7日の県大会に行くという状況になっています。女子は2位は白石中学校、3位が武雄青陵中学校ということで、それぞれ3位までが県大会に進むという状況になっています。

2番目ですけれども、もう委員をされた方は、去年でしたでしょうか、文科省主催の市町村教育委員会研究協議会というのが行われておりまして、去年は福岡の大会でございましたので福岡まで行っていただきましたけれども、今年は岡山ですので、ちょっと遠過ぎるということで、オンラインのほうで参加をしますが、研究分科会が①から⑨まで挙げられています。これについて、4つ希望を、順番を決めていただいて、自分はこれとこれとこれとこれと4つ希望していただいて、参加者から希望を募って行って、最終的に絞られるということです。

4つの希望については、この会が終わった後、確認をします。日本の西半分が集まりですから参加者は多いですので、例えば、1番目の教育委員会の機能強化・活性化の1組目、2組目、3組目と、1つのテーマに何組もできるということで、武雄市の4人の教育委員さん、私も含めて5人が同じグループに入るということはまずないということです。1月16日金曜日、1時からということで、実はこのタブレットが入りましたので、目の前にカメラもついていきますので、教育委員会に集まらないといけないのかどうか、それぞれの家にWi-Fi

の設備があれば、それぞれの家でオンラインができるのか。前回オンラインでしたときは、4部屋に分かれて行いましたが、その辺は状況を見ながら、1月16日前に、どういう形でしていくのかということで検討させてください。一応、参加したい4つの希望を。

3番目の不登校対策・いじめ対策は、大きく2つのテーマがありますので、3番を選ばれるときには、「不登校」なのか、「いじめ対策」なのか、どちらかを書かないといけないようになりますので、3番は注意していただきたいと思っています。

そして、参加研究分科会が決まりましたら、一応事務局のほうで武雄市の現状、例えば、教育委員会の機能強化・活性化について、武雄市は今どうしているのかとか、現状の資料を統一して、部活動の地域移行は今どこまでしているのかとか、そういうことを、それぞれ面々が調べなくていいように、共通した資料を準備して会議に臨んでもらうと。この日の都合が悪かったら、絶対参加じゃありませんので、それぞれの都合で、都合がいい人、この日は参加できないと今分かっていたら、もう欠席の形でいきたいと思っています。

もう10月も中旬になり、今日はエイトウがありまして、夜になると綱引きがあります。そして、あしたの流鏝馬で、武雄町内の秋祭りということになっておりますが、天気は大丈夫だろうと思っておりますが、そういう時期になりました。

そして、いろんな催物が開かれています。ぜひ時間があられたら見学されたいと思っておりますが、この前、10月11日に2つのオープニングセレモニーがありまして、1つは古武雄vs中島青磁の焼き物関係の展示展が陽光美術館であっております。これも12月ぐらいまでの2か月ということですので、時間があられましたら、先着1,000名様の方武雄市民は入場料無料です。先日、武内小学校の4年生が古武雄を勉強している関係で行っています。

そして、2番目の宇宙科学館ですね。これは全国国立博物館の巡回展ということで、これも私は時間が重なりましたので、後で巡回展のほうは行きましたけれども、非常にお客さんが多く来ていらっしゃいました。そういうことで、これも2か月程度、12月ぐらいまでです。

そして、例年、恒例になっておりますが、11月3日、今年は月曜日、祝日になりますね。11月3日に武雄市及び武雄市教育委員会の表彰式ということで、昨年から市役所1階のホールです。御臨席をお願いしたいと思っています。

その1週間後は、たけおっ子の主張ということで、これも1階のホールで行います。これは出場する学校は決まっています。

それと、11月15日は、これも恒例になりました、合唱団やまびこの公演会があります。今年で70回目になるという非常に伝統のある発表会で、北方文化ホールで開かれる予定になっています。

そして、その同じ日の土曜日から日曜日にかけて、武雄の物産まつり、そして、武雄市伝統芸能まつり、これがケーブルワンスポーツパークで行われます。武雄市伝統芸能まつりで

すけれども、毎年3組出演をしてもらって、今年は山内町の立野川内浮立、そして、中野荒踊り、そして、南片白浮立ということで、3つが出演していただくことになっています。

では、国の動きということで、そこに書いてありますが、最近の動きということです。

首相が変わりまして、文科大臣も変わりましたので、今まで高校の無償化とか、あるいは小学校の給食費の無償化とか、いろいろ出ておりましたけれども、その辺がどういう方向に行くかと。政権の枠組みも変わりましたので、これから注目しなくてはなりません、ページをめくっていただいて、次からずっと記事を書いています。

まず、OECDの記事が載っておりました。日本の教員は、勤務時間は減っていますがけれども、やっぱり世界で一番長くなっているということで、中学校は部活動が負担になっているという記事が載っているところです。年々減りはしているんですけども、世界と比べたらまだ勤務時間が長くなっているということで、中学校は週平均55時間という状況だそうです。勤務時間がなかなか減らないということから、右側にあります、教師を取り巻く環境整備ということで緊急声明を出されて、まずは、小学校は35人になりましたので、中学校も35人学級に向けて、義務標準法を改正してほしいという提言をしたり、あるいはいろんな加配を増やしてほしいとか、そういったことで緊急声明が今後出される予定です。

そして、別添資料3、別添資料4です。

これは横になっていますけれども、別添資料4、これは部活動の地域移行が——地域展開ですね。進んでいく中で、地域クラブ活動に武雄市も月2回取り組んでおるところです。いろんな課題がありますが、1つは、体罰、パワハラ、こういったこと、勝利を目指して熱心にやっているとこういったことが非常に心配されるということで、子どもたちの安全を確保するためにということで今文科省が取り組んできて、どうやって子どもたちが安全に活動できるようにするかといったこと、あるいはけがですね、そういったときにどうするのかということで、生徒の安全確保について特化して今検討をスポーツ庁がしているという資料が入りました。一応、11月17日月曜日に今年の武雄市の部活動検討委員会を開く予定にしておりますが、そういったあたりでも一つの話題になってくるのかと思っています。

あるいは、ここには載っていませんが、今度、部活動の地域クラブになると、塾のようにある程度の負担金をお願いするようなことにもなってくるかと思っています。文科省は限度が月3,000円ぐらいだろうと、上がってもですね。2,000円ぐらいでもいいのかなと。どの辺まで子どもたちの個人負担で賄っていくかということになりますけれども、そういうことでいろんな細かいところが今、スポーツ庁のほうで検討されてきております。

そして、最後の新聞記事ですけれども、やっぱりいろんな物価が高くなって、部活動に金が、家計は負担が大きくなっているということで、部活動で使う道具類が全て上がってきていると。意外とこの辺は注目されないというか、あるいは中学生になるときの制服代とか、カバンとか、いろんな目に見えない負担が、重くなっているということです。非常に強い

チームになると遠征費が結構かかると。そういう遠征費のこともあるようでございます。

そういう新聞記事が載っておりましたので、最後に国の動きとして示したところです。

これをちょっと戻っていただいて、下で見るのを1つ戻っていただいて、最後のカラーで出ているこの画面まで戻っていただいていいですかね。この画面まで戻っていただいて、真ん中、ピンクでしたかね、九州の希望を聞く文書はピンクの中に入っていますからですね。ピンクを開いていただくと、そこに1月16日オンラインというものがありますが、ここは国から来た通知文書ですので、開始時間とか、そういったものを書いてありまして、そこに私がさっき書いた1から9までの分科会が書いてあります。

教育長の報告が終わります。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。国の動き等を資料も添付いただきながら細かく説明いただきましたけど、委員さんのほうから御質問、お尋ね、また、執行部のほうから補足等、追加等ございましたらお願いをしたいと思います。何かございませんか。

○教育長職務代理者

また後、終わってから、先ほどの研究協議会の希望等も聞かれるということですので、後で御覧願いたいと思います。

ないようでしたら、先に進めます。

それでは、教育長の報告が終わりましたので、5番の議事、まずは公開内容で(1)に①と②がございます。

まずは図書館の選書についてということで、何か補足等ございませんでしょうか。お尋ね等ないですか〔「なし」と声あり〕。

ありがとうございます。

それでは、②の各課等からの行事報告ということで、できたらページまで伝えていただきながら発表いただければありがたいですが、執行部の皆さん、どちらの課からでも結構ですが、挙手ございませんか。はい、図書館のほうからですね。

○図書館・歴史資料館長

図書館・歴史資料館からです。

お手元のほうにチラシをお配りしていると思います。1か月後ぐらいになりますけれども、次の教育委員会に間に合いませんので今回用意いたしまして、11月15日から企画展を行います。「重要文化財保存修理10年企画展 繕（つくろう）」ということで、これにつきましては、図書館が平成25年度にリニューアルして、翌年の平成26年に一括して2,224点が国の重要文化財に指定されました。翌年の平成27年度から文化庁、県から補助をいただきながら保存修理に取り組んでいまして、ちょうど10年たちました。

そういうことで、これを契機に、この文化財の保存修理の状況、成果等を皆様方に報告す

るとともに、この武雄のお宝、こういう形で保存しているよというのを皆さんにお知らせしたいということで、約1か月間、12月14日まで蘭学・企画展示室で開催いたします。

途中、チラシの表の右下のほうにワークショップと書いています。学芸員から説明をしながら、そういうことをしながら、今回ちょっと地味な展示会だなという言われ方もされていますけれども、やっぱりきちっとお知らせをしたいなということで、今回、成果をお伝えする企画展を開催します。よかったら教育委員の皆さんも、時間がありましたらぜひ足を運んでいただければと思います。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。タブレットのほうでも、31ページ、32ページに表裏ございます。詳しい資料については、今、図書館の館長さんのほうから御説明がありました。平成26年から10年経過の資料企画展ということですが、何かお尋ねはありませんか。よろしいですか〔「なし」と声あり〕。

1回でも2回でも足を運ぶことで学びたいと思います。

ほかの課から。新しい学校づくり課長。

○新しい学校づくり課長

データの30ページになります。

今年度のリーディングDXスクール、4校の指定校による合同の研究公開が予定をされております。日にちが11月28日となっております。こちらのチラシの案内がまだ一時案内ということで、詳細については今まだ4校と調整中ですので、最終のチラシができましたら再度御案内を申し上げたいと思います。御都合がよろしければ、どうぞ参加のほうをお願いしたいと思います。

以上です。

○教育長職務代理者

ありがとうございます。

タブレットのほうに、各スケジュール、11月28日——これは以前、若木小学校とか北中、武雄中であつた、そういう感じで自分の行きたいところに行ってもいいということでよかつたんですかね。全部回らないといけなかったですか。

○新しい学校づくり課長

御都合に合わせて4校、可能な範囲で参加いただければと思います。

ちょっと小さくて見にくいと思いますけれども、午前中、山内東小学校からスタートしまして、西川登小学校と川中のほうは同じ時間で実施をします。午後から武雄中のほうで公開授業を行った後に、授業者との交流や全体会を予定しているところです。

○教育長職務代理者

詳しい説明をありがとうございます。また紙ベースでも御案内があらうかと思いますが、時間をつくっていただきますようにということです。

何か、いいですか、竹内先生とか。いいですね。

○竹内委員

はい。

○教育長職務代理者

ほかに、ほかの課長さん、何か、部長さんとか委員さんからごさいませんか。よろしいですか〔「なし」と声あり〕。

ないようでしたら、(2)その他で学校教育課長さん。

○学校教育課長

資料の28ページを御覧ください。

報告事項です。

令和8年度春季休業日の変更についてです。

武雄市立小中学校の管理に関する規則において、休業日、第33条では、「春季休業日 4月1日から同月5日まで。」と定められております。2番には、「校長は、様式第3号により教育委員会の承認を受けて、前項各号の休業日の期日を変更することができる。」となっております。

令和5年度に開催されました学校行事検討委員会におきまして、始業式は、「小中学校とも、始業式までの準備等の期間が4日以上とれる日程とする。（4日間取れない場合は、「校長会から申請→市教委が承認」のかたちをとる）」ということで市で統一をされております。

先日、武雄市校長会より申請があり、令和8年度春季休業日を令和8年4月1日から令和8年4月6日までとする（1日延長）。

武雄市全小中学校（全学年）。

理由としましては、令和8年度春季休業日は、曜日の関係で平日が3日間しかない。始業式までの準備等の時間を確保するために春季休業日を1日延長する。

その他としましては、令和8年度は授業日が1日減ることで実施するしたいと思います。続きまして、29ページを御覧ください。

令和7年度卒業式、令和8年度入学式についてです。

卒業式は、市内小学校は令和8年3月13日金曜日、市内中学校は令和8年3月6日金曜日となっております。

学校行事等検討委員会、令和5年度に開催されましたが、これにおきましては、卒業式の日程は原則、中学校卒業式の1週間後の金曜日、中学校の卒業式は県立高校入試日のある週の金曜日と定められております。令和8年度佐賀県立高等学校入学者の選抜（高校入試）の

日程が、一般選抜が学力検査は令和8年3月3日火曜日及び令和8年3月4日水曜日と県教委のほうより発表がされております。これを受けまして、中学校の卒業式が3月6日金曜日、小学校の卒業式が3月13日金曜日になります。

また、令和8年度入学式につきましては、先ほど申しました学校行事等検討委員会におきまして、小学校は原則、始業式の翌々日の午前、中学校は原則、始業式の翌々日の午後となっております。先ほども申しました令和8年度の春季休業が令和8年4月6日までの1日延長となり、始業式が令和8年4月7日火曜日となります。これを受けまして、令和8年の小学校、中学校の入学式が4月9日木曜日の午前と午後にそれぞれ小学校と中学校で行われることとなります。

以上、令和7年度卒業式、令和8年度入学式の報告についてでした。

○教育長職務代理者

28ページ、29ページで2つの報告がございました。この辺の内容についてお尋ねしたいことはありますか。

これはそしたら、毎年検討しているんですか。土日が入るときだけということですか。

○学校教育課長

これまでは曜日の関係で最低4日間は平日が確保できておりましたけれども、令和8年度に関しては曜日の関係で3日間ということになりましたので、今回、校長会からの申請で1日春季休業を延ばすと。

○教育長職務代理者

1日の辞令交付式を含めて、なかなかその日はまた動けないので、最低4日間は欲しいということですよ。

○学校教育課長

はい。

○教育長職務代理者

これは県内の動きと大体一緒なのですか。武雄市独自ということはないですよ。

○学校教育課長

いや、武雄市独自だと思います。

○教育長職務代理者

武雄市独自ですか。

○学校教育課長

校長会からのあれですね。

○教育長職務代理者

ばたばたしたりしていたですね。

○教育長

うん。だから、土日に来て準備をしていたんです。ところが、今の時代、土日にしなさいとは言える時代じゃなくなったので、4日は平日を確保していこうということで、武雄市はその年のカレンダーを見ながら、今年は3日しかないというときは1日始業式を延ばして4日は確保すると。それで学校には了解をしてもらっています。

○教育長職務代理者

確保できるということですか。

○教育長

ただ、年によっては6日間確保できるときもあるんですよ、曜日の関係でずらっと。そのときは7日にする必要はないねということ武雄市は考えて、3日のときだけ、校長会のほうから1日春休みを延ばしてくださいと申請して許可をするという形にしています。

もう一つは今後のことです。今、高校入試を変えようとしています。本当は今年7月ぐらいに、今の中学1年生が受験をする2年後の高校入試から変えようとしていますけれども、なかなか議論がうまくいかなくて、11月を迎えようとしていますけれども、まだ原案が出ません。ただ、中学1年生が中3になる時の入試から変わるということは分かっているんですけれども、その一つに、高校入試を少し早めにしようという意見もあるそうです。

その辺も、高校入試の日程はまだ分かりませんので、今後は卒業式をどうするのか、高校入試で不合格になった後にも卒業式をしていいのかどうかですね。そういう検討をしていかなければならないということです。

いつぐらいに卒業させるのがいいか。春休みが1か月あるんですよ、卒業してから高校の入学式までほぼ1か月。春休みが1か月も要るのかどうかと。昔は2週間ぐらいが普通でしたけれども、今は1か月ぐらい春休みがありますので、ちょっとその辺が、春休みは宿題も出さないとかいうところもあります。高校からの宿題に頼っているところがあるんですよ。高校から課題を出してもらって、それを合格者登校日のときに持っていくとか、いろんな高校に頼っているところがありますが、今後、その辺が一つの検討課題が出てくるかなと思っています。高校入試がどう変わるか注目をしているところです。以上です。

○教育長職務代理者

ちょっと今ので教育長さん、例えば、県立中学校あたりは高校入試は直接関係がないので、例えば、卒業式を極端に言えば遅らせるというのは、その辺は中学校は中学校でして、やっぱり県立と市学というか、私じゃなくて、市町の学校はある程度合わせてもらったほうがいいのか。保護者は休みが長いというのがよいか悪いかは、やっぱり今の時代だから、できるだけ学校で少しでも長く勉強を教えていただくなり、学校でお世話していただいたほうが保護者としては安心。小学校は放課後でもいいでしょうけど、中学校あたりは、その時間は部活動もできないわけだし、高校に行くわけにもまだいかないわけですし、県立は最後の最後

まで勉強しようと思えばしていいので、そこはある程度合わせてもらわないと不公平が——公平というとおかしいですけど、じゃ、県立中にやればいいと言われてたらそれで終わりですけど。その辺は保護者の意見も聞いてもらって……

○教育長

実は、県立中ができた当時はずっと春休み近くまで補習授業をされていました。

○教育長職務代理者

あっていましたよね。

○教育長

卒業式等も済んで、全部が武雄高校に行きますので。ただ、それもちよっと批判とか出て、今、中学校の卒業式に合わせて一応青陵中が終わっていますよね。その辺は日程的には、幾らかは補習があっているかもしれませんが、そんなに変わらない。ただ、中高一貫の県立中の欠点は、入試がないので、ずるずると行くときがあるんですよ。入試というのは3年間のまとめの勉強をしますので、意外と中学の勉強のまとめの勉強をするんですね、受験勉強というのは。それがないので、ずるっと行ってしまうという欠点があるんですけども、一応春休みも同じぐらいになっているでしょう。

○松尾委員

県立からも結局受験する子、工専に行く子とか何人かやっぱりいるので、青陵からもですね。だから、どうしてもそれは併せて今考えてあると思いますけれども。

○教育長

昔は補習をされていましたよね。

○教育長職務代理者

うん、されていました。

私学の中高一貫とかはどうなっているんですかね。

○教育長

私立の中学校は分かりません。

○教育長職務代理者

私学だから自由にいいんでしょうね。そんなこと考えなくていいはずですよ、一貫校だから。

○教育長

清和中学校とか龍谷中学校とか。

○竹内委員

弘学館もですね。

○教育長

弘学館もありますね、中学校は。私立は勉強させて、いいところにやるのがあれだからね。

○教育長職務代理者

先ほどのPTAあたりでもちょっと話題に――武雄は柔軟に、高校入試であるとか、高校の動きによって今のように期間をどうするかとか、卒業式、入学式をどうするかというのは柔軟に決めつつも、保護者の意見とかも少しは、校長会の要望だけじゃなくて、やっぱり保護者の立場からの意見も少し聞いておいたほうがいいのかも分からないですね。

ほかにいいですかね。一応、報告事項の①のほうはしないまま、今、学校教育課長さんのその他のほうに入ったんですけど、皆さん執行部のほうから①の公開議事についてはよろしいでしょうか〔「異議なし」と声あり〕。ありがとうございます。

それでは、次に参ります。

少し時間が進んでおりますが、一応、今日の大きな議題については以上でございます。

7番、次回、11月の定例教育委員会については11月20日、今度は木曜日になっております。15時からということで、ここの4階会議室になっておりますので、御準備をお願いいたします。

その他というのが、先ほどは入っていないですが、何かその他で。竹内委員さん。

○竹内委員

すみません、その他のところで聞こうと思っていたんですけども、4点ほどあります。

佐賀新聞の9月25日付だったと思うんですが、デジタル教科書が2030年度から正式導入へというのが載っていました。デジタル教科書だけにする、正式導入ということですから、デジタル教科書だけ、あるいは紙、それから、両方使うハイブリッドにするのかという言葉とか、QRコード先の学習材も教科書の一部とみなすとか、これは非常に大きな記事だなと思って目に留まったんですけども、今後、中教審の動きというのは注意をしておかなければいけないなと思いました。

そこで思ったんですが、それに応じて教職員がぎりぎりになって対応していかなければいけないとなると、かなり苦慮するだろうと。この働き方改革の中で、大きな負担となるんじゃないかなという心配もちょっとしたところです。

そこでお尋ねですが、デジタル教科書は現在、武雄市は導入していると思うんですが、現状どういう導入になっているのか、教えていただければなど。

○教育長職務代理者

1つずついいですか。新しい学校づくり課長。

○新しい学校づくり課長

現状ですが、小学校5年生以上、中学3年生までですが、こちらは3教科導入をしております。そのうち1教科は英語でして、そちらは全て国からの支給となっています。あと、算数、数学の約半数が国からの支給で、その残りの教科については各学校で選択をしていただ

いて、3教科、デジタル教科書を導入しております。

4年生以下については1教科導入をしている状況です。

以上になります。

○教育長職務代理者

お願いします。

○竹内委員

ありがとうございます。

そこでなんですが、デジタル教科書が入っていて、その使用状況というのは、どのくらい使われているかとか、その辺の把握というのはできているのでしょうか。

○教育長職務代理者

どうぞ、お願いします。

○新しい学校づくり課長

調査等を行って数字を把握しているわけではありませんけれども、私たちが学校に足を運ぶ中では、多くの、ほとんどの先生方が導入されている教科については活用をしているという状況になっています。

○教育長職務代理者

竹内委員さん。

○竹内委員

こういう記事が出て、2030年の指導要領からということになれば、ちょっと早めに出てくる、今までのパターンでいくと、もっと早めに実際に当たっていくという形だったと思うんですが、そのときに、じゃ、皆さん、入りましたのでどうぞ使ってくださいと言われると、多分かなり厳しいと思うので、武雄は以前からずっとそういう取組をされて、国の補助プラス市のほうでも入れてもらって、環境を整えてもらっている部分があると思うので、ぜひその活用というのを、少しずつ国の動きを見ながら準備をしていっていただきたいなと思っています。ぜひ武雄の強みを生かしていただきたいと。

ほかにもICTの使い方というのはいっぱいあるので難しいかと思うんですが、結構デジタル教科書を使うというのは、先生たちは難しいところもあるんですよね、私の印象ですけど。だから、その辺の使用例とか、そういうのも今後、あと5年か、5年ないと思うので、ぜひ教育委員会のほうで、日本の先進的なところとか、あるいは武雄が先進かも分かりませんが、その使い方をぜひ助言したりとか、情報提供したりとかしていただきたいなと思います。

次です。

貧困対策コーディネーターについてですが、今年から新たになられたスマイル先生がいらっしゃると最初説明があったように記憶をしているんですが、その活動状況というか、1

学期が終わりましたけれども、今までされていたコーディネーターの方は中身を分かっているってやられていると思うんですが、新しくなられた方あたりの活動状況というのはどうなんだろうなと思ひまして、お尋ねです。

○こども未来課長

今年度新たになられた方は3名いらっしゃいます。拠点校としましては、御船が丘小学校、そして朝日小学校、山内西小学校のコーディネーターの先生が新たな先生になります。

また、あと、子育て総合支援センターのほうも人事異動で1名増にしておりますけど、2人配置していますが、2人とも新たなコーディネーターにはなりますけれども、まず、学校のほうにつきましては、まず最初に、この1学期といいますか、年度初めについては子どもたちの様子、それと事前に前の担当の方から引継ぎをいただいた方、引継ぎをもらった気になる子どもたちの情報の下で、実際に子どもたちの様子を見ながら、子どもたちとのコミュニケーションを取り、また、保護者の方がお迎えに来られた際には保護者の方とも面識を保つと、取るという形で、まずコミュニケーションのほうから進められております。

実際に、4月、5月、6月と月が進むに当たって、相談の件数というところも増えております。そのいろいろなパターンにつきましては、ベテランの先生、馬原先生、中野コーディネーターに相談をしながら、月に1回、笑顔コーディネーターのワーキンググループという会議をしておりますので、その中で事例を出したりとか、またはこういったパターンのときはこうしたほうがいいのかという部分、または行政が間に入る部分であったり、様々な物資の援助をどこにお願いすればいいのかとか、いろんな部分をそこで出させていただきながら、研修も兼ねて取り組んでいただき、今は大分子どもたちに寄り添った伴走的な支援にも近づかれています、されているという状況と認識をしております。

○教育長職務代理者

緒方課長さんのフォローにもなりますが、先日も我々スチューデント・サポート・フェイスが主催した研修会にも3名来られて、中野先生から質問まで、武雄の笑顔コーディネーターの在り方とか、やっていることの紹介までしていただいたりして、県内に知れ渡ったかなとも思ったり。

うちのほうにも新しい皆さんが来られて、貧困対策についても一緒に勉強しましょうみたいな、家庭、保護者の支援をやりましょうという伴走型の話なんかもできたところでした。

○竹内委員

ありがとうございました。ワーキンググループで、行政が間に入ったり、連絡調整ができているんだなというのはよく分かりました。

以前、私が勤めていた頃の同僚の校長先生方が武雄市を出られるときに、この貧困対策コーディネーターの方が学校にいらっしゃるの是非常にありがたがられていて、学校に配置されているというか、学校に机がある状態でのコーディネーターさんがいらっしゃるという

のは、学校にとっては非常に助かると言われて出て行かれる方がほとんどでしたので、これも武雄の教育のいいところだろうと思いますので、ぜひ続けていっていただきたいんですが、一つ、今、新しく配置をされたコーディネーターの方からの情報収集とか、悩みを聞いたり、あるいは現在の状況を把握されたりというのはされていると思うんですが、拠点校となる学校の管理職あたりに、始まって1か月、1学期が終わって、状況はどうですかと。これは先ほど課長さんがおっしゃったように、一人一人違うし、学校の状況によっても違うので、一概に同じ取組方ではない場合も存在すると思うんですね。だから、そこをコーディネーターの方だけではなくて、学校の管理職の方からもヒアリングを行うとかいうのを、いつもかつもできないと思うので、1学期が終わったところでどうですかねということで、また新たないい取組につながっていくのではないかなと。それが子どもたちのためになると思いますので。

そういうことはもうやっていらっしゃるかも分かりませんが、ぜひ管理職のほうにも行政のほうからつないで聞いてみるようにすると、学校は学校で悩んでいることが別にあたりするかも分からないので、そういうのは非常に必要かなとちょっと思いましたので。もしまだでしたら、そういう機会をぜひつくっていただきたいなと思います。すみません、ありがとうございました。

○子ども未来課長

校長先生とか教頭先生とお話しする機会というのはできるだけ設けるような形で思っております。実際に、今2回ほどぐらいですけれども、一番最初の部分と中間の部分でお会いした経緯はあります。ただ、まだ最初の頃でしたので、形的な部分でもあたりするんですけど、**コーディネーターは**、学校から情報をいただいた部分に関して情報はいただくんですけど、コーディネーターが持っている情報の共有というところがなかなか学校側に入っていないという御意見もあったので、その部分に関してはコーディネーターのほうにも話をし、同じ子どもたちですので、双方で情報を共有しながら進めていってくださいという話をしながら、管理職の方の御理解の部分、それとあと困り感の部分も行政のほうにもいただくような形で取り組んでいますので、今後もそういった機会をできるだけ取っていきたいと思います。ありがとうございます。

○竹内委員

私の経験上、コーディネーターの先生がいきなり管理職に話すというのは非常に難しく、こちらから聞くような姿勢でいかなないとなかなか話してもらえない部分というのもあるので、その間に入ってもらおうというのは非常に大事なことかなと思います。武雄にとっては非常にいいことなので、さらによくなるようにぜひお願いしたいと思います。ありがとうございました。

○教育長職務代理者

竹内先生、まだあと3つぐらいある……

○竹内委員

あと2つあります。

○教育長職務代理者

大丈夫ですか。できるだけ、ちょっと時間が長引いているので、ごめんなさい。

○竹内委員

すみません。多分、今予算の頃だと思んですけども、教育施設でどこでもかかるのは、学校訪問に何校か行かせてもらって、LEDの設置状況というのは、新しい予算のほうで何か考えていらっしゃるのか。学校によってはもうほとんどなっていますというところがあるのかも分かりませんが、その辺はどうなっているのかなというのが1つと、まとめて言います。

それから、朝の花まるタイムが今年度から実施するところとしないところと出てきていると思いますが、私も花まるタイムは何回か行かせてもらいましたけれども、学校の、例えばなくなったところの、その後の朝の時間の活用状況がどうなっているのかなど。変わったからこそ、今年が一番そういう把握をしやすいときだろうと思うし、それがどうなっているのか、学校に任せているのか、あるいは働き方改革でちょっと詰めたというところも聞いたこともありますけれども、その辺がどうなっているのかちょっと知りたいなど。

以上、2点です。

○教育長職務代理者

まずLED。

○教育総務課長

LEDについてですけども、皆さん御存じのとおり、2027年度から蛍光管が廃止になります。終了ということで、教育総務課といたしましては、今年度からの導入に向けて、昨年度予算要求をしております。しかしながら、この件につきましては、学校施設だけの問題ではなく、市の施設全部の問題ということで全庁的に取り組むべきだということで、財政部局のほうを中心に検討を進めることとしておりました。

しかしながら、最近になりまして財政部局のほうから、全庁的に一括してするのは非常に時間がかかるので、結局、各課で対応してくださいということで連絡が来ましたので、これを受けまして、教育総務課といたしましては、今、専門業者などに意見を聞きながら、どのように対応していくべきか検討に入っております。

まず、先ほど言われたように予算面ですね。一遍にするなら非常にお金がかかりまして、昨年度予算要求をしたときも、10年間リースで年間2,700万円という金額がかかりますので、導入の手法を、工事にするのか、リースにするのか、委託契約でするのか、どこが一番安い

方法が一番都合よくできるのかというのを今検討している状況で、この分については本年度予算の要件には間に合っておりませんので、8年度中に検討をしまして、9年度予算に乗せる形で対応していく計画で進めている状況です。

○教育長職務代理者

花まるタイムについて。学校教育課長さん。

○学校教育課長

学校訪問で市内の小学校を回っているいろいろお話を聞いているところですけど、花まるタイムの実施回数を減らしているところ、全くしないところもあります。でも、話を聞く中で、やはり個別最適な学び、共同的な学びを成立させるためにはやはり基礎学力が大事だということで、花まるタイムをしていないところでも学力タイムとか、または読書ですね、学校によっては読書に力を入れましょうとか、それぞれの学校によって特色あるというか、朝の時間を組んでいるところが多いです。

また、週に全部じゃないですけども、曜日によっては、週一で校時をちょっと繰り上げて放課後の時間を早く帰すとか、子どもと向き合う時間を放課後につくるとか、そういった学校もあります。それぞれの学校の特色というか、あれによって取り組まれています。

○教育長職務代理者

何か、いいですか。

○竹内委員

もう大丈夫です。

○教育長

そしたら、私から補足で。

1番目のデジタル教科書は、あの記事を読んでいたら、今のデジタル教科書とは違うようですね。今のデジタル教科書と言っているのは教科書のコピーなんですね。全く教科書のコピーですが、教科書に求められている内容が違うので、問題は採択をどうしていくのか。

武雄市は事務局がほかの市町に移りましたので、ほっとしているんですけど、今度の採択は、ペーパーも採択しないといけない、デジタル教科書も見ないといけないという中身になる。今後も情報を収集したいと思います。ハイブリッドにするか、ペーパーにするか、デジタルだけにするかは教育委員会で決めるということになっていますので、この辺の近くの情報交換をしながら話し合いをしていきたいと思っています。

スマイル先生は今説明がありましたように、今年これまでと大きく変わったのは、学校の先生経験者じゃない人をスマイル先生にしているというのが一番大きな、これが意外とよかったんですね。今までは学校の先生、学校の先生と言われていたんですけど、しかも校長先生上がりだとか言われていたんですけども、意外と資格を持っている人がいるので、違った目で見えていただくということで、非常によかったなと思っています。

学校も先生が足りない状況の中で、あるいは定年も延長している中で、なかなか学校経験者をお願いするというのが難しい状況のところもございます。そういった辺りですね。

あとは、予算関係は本当に、体育館のエアコン関係、LED関係ですね。いろんなことをしないといけないとは思っていますけれども、ちょっと先立つものがなかなか厳しいところがございます、簡単にはいかないかなと思っていますところです。

○教育長職務代理者

その他、ほかにも御発言があられるかと思いますが、今日はしっかり、1時間と言われていたのを今日は2時間近くになってしまいました。皆さん、後の整理であるとか帰る準備もあられるのに長くなりまして。

ただ、大事な意見交換で、教育委員としておるばかりではちょっと。我々も勉強はしっかりしないといけないと思いつつも、会を進めてきたところでした。

特別になれば、以上で10月の定例教育委員会を終わりたいと思います。遅くまでどうもありがとうございました。

午後4時47分 閉会